

平成 29 年度  
事業経過報告書

社会福祉法人 清風会  
グループホーム みさと

(1) 地域との協働

運営推進会議を定例開催し、地域の運営推進員の意見を取り入れながら、施設運営に取り組んだ。また近隣の祭りや、行事に参加し、地域交流を行った。地区自治会活動として実施される災害訓練や道路掃除などに参加し、会員としての取り組みに努めた。

(2) 利用者中心のケアマネジメント体制の充実

ご利用者のニーズに沿いつつ、個別サービス計画を職員で策定し、ご利用者及びご家族の同意を得たうえで、計画に基づくサービスを提供した。また、そのサービス計画が、日々の生活のなかでどれだけ有効に実施されているか、モニタリングを行い、見直しが必要な時は再アセスメント・再計画策定しながら、ケアの提供を行った。

(3) 理念に基づいたケアの提供

ホーム内での活動、ケアの提供の他、それまでの暮らしを大切にして頂けるよう住み慣れた地域のドライブ、ふれあい・自宅訪問で草むしりや、掃除、自宅の果実を採取・産業祭出品・通いなれた美容室での整髪等、個々の欲求に応じた計画を実施した。

(4) 感染症予防

標準策の徹底・感染症予防月間の更なる予防強化に努めたが、1月に職員(1)を含め3名がインフルエンザB型に感染した。認知症の症状から隔離の徹底が困難で、非感染者へ予防強化を図り対応を行った、また外部からの面会者のお断りの文書掲示で感染予防を行った。

(5) 防災訓練

訓練を定期に実施する事で、有事の際に迅速に行動できるように訓練をおこなった。また救命講習を計画実施し技術の研鑽に努めた。

(6) リスクマネジメントの徹底

事故を未然に防ぐために、入所者のADLに即した環境整備や機器の導入・個別ケアに心がけた。また、ヒヤリハット、事故報告を分析し、再発防止に努める他、その後も定期的に再発防止策の実施状況を検証し、再計画・実践を繰り返しながら予防を行った。

(7) 身体拘束廃止推進

「身体拘束廃止マニュアル」に基づき、ご利用者本人又は他のご利用者等の生命又は身体を保護するために緊急やむを得ない場合を除き身体拘束を行わないことを徹底し、ご利用者の人権を尊重したケアに努めた。

(8) 口腔機能維持、経口摂取維持の推進

訪問歯科医師、かかりつけ歯科医院の指導・助言を受け、口腔機能の向上、維持に努めた。

(9) 食事と栄養管理

・摂食時のむせ・咀嚼力低下・食欲不振等の摂食障害の方に対し、摂取量の安定・栄養の充実が得られるように、食事形態、食事姿勢、介助方法を工夫しながら、口腔からの摂取維持を心掛けた。また個人の嗜好に合わせて代替え食品の提供・季節感を感じられるような食材の使用・行事食・外食の提供で満足感を持っていただく工夫を行った。

・入所者が出来ることを支援する視点を持ち、食材の準備・かたづけ等の協力を得ながら食事作りを行った

(10) 健康管理

・日常の健康状態を把握し、状態変化時の早期発見・早期治療に努めた。また主治医と連携し、定期受診、随時必要な受診を行いながら健康管理を行ったが、徐々に医療必要度の高いご利用者の増加で入院退所・特養入所の方も増し、病院・施設へ協力依頼で状況に沿ったサービスが受けられるように調整を行った。

(11)入浴支援

安全で快適な入浴を週 6 回設けての、個人の希望を伺いながら入浴を楽しんで頂いた、またゆず湯や入浴剤を使い楽しんで頂いた。

(12)排泄支援

トイレ(必要時は夜間ポータブルトイレ)使用を原則として腹圧を掛けた、自然排泄ケアに取り組んだ。利用者の排尿量に合わせた排泄ケア用品を提供し、またコスト削減に努めた。

(13)職員の健康管理

定期健康診断を 2 回実施し、健診結果は各自に病院から受取り、必要な健康管理を行った。またインフルエンザの予防接種を全職員が実施した。インフルエンザ感染者 1 名発生した。職員はタミフル服薬を行いながら、感染予防し職場対応を行った。

(14)職員の資質向上

- ・朝夕の申し送り、随時適宜連絡を取り合い、情報を共有して、統一した介護・事業を実践する事に努めた。
- ・内、外部研修を取り入れ、知識、技術の向上を図った。
- ・外部評価事業の取り組みを行い、自己評価・課題の改善に向けた計画、実践を行いながらサービス水準の向上に取り組んだ。
- ・毎月の職員会議で随時必要な事項を検討しながら課題軽減、情報共有、行事企画等を行い実践した。

利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	8名	9名	9名	9名	9名	9名 (7)
退去	1名 竹田	0	1名	1名入院	1名入院	2名
対応サービス	病院→特養		特養入所	・病院 (14日入院)	同	・病院→特養 ・病院→永眠
新規入居	0	1名	0	1名	0	0
介護度 1~5	0・2・4・2・0	1・2・4・2・0	1・2・4・2・0	1・2・4・2・0	1・2・4・2・0	1・2・4・2・0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	9名	9名	9名	9名	9名	9名
退去	0	0	0	0	0	0
新規入居	1名	1名	0	0	0	0
介護度 1~5	2・1・3・2・0	2・1・3・3・0	2・1・3・3・0	2・1・2・4・0	2・1・2・4・0	2・1・2・4・0

健康診断・感染症予防

期日	名称	会場	内容
平成 29 年 5 月 22 日	利用者健康診断	西病 郷院	入所利用者全員 心電図検査 胸部 X 線検査 血液検査
4 月・10 月	全職員	瀧井病院	心電図検査 胸部 X 線検査 血液検査
平成 29 年 11 月 5 日	インフルエンザ 予防接種	GH みさと	入所利用者全員 担当医 日向市 瀧井病院 瀧井修先生

衛生検査

頻度	検査所 有研	対象者	検査項目
随時検査実施	登録衛生検査所 有研	全職員	赤痢菌 サルモネラ 腸管出血性大腸菌 O-157

行事及び地域交流 毎月季節の行事や歳時記にあわせた季節感のある行事、利用者の誕生会を開催した。

期日		名称	内 容
4 月	3 日	雛山見学	地域の愛好家が作成した、つるし雛や羽子板・タベストリー雛・雛段飾りの展示を年の神社で見学(西郷)
	4 日	ドライブ	花見ドライブ(西郷)
	5 日	ドライブ	花見ドライブ(西郷)
	13 日 16 日	害虫駆除	有害虫の駆除を行う。 施設外
	18 日	外出支援	帰宅欲求の方の精神安定の為、南郷方面ドライブ草むしり自宅見学・知人と談話(南郷)
	28 日	外出支援	髪切り、顔そりでリフレッシュする(西郷)
5 月	13 日	外出支援	自宅訪問 美郷町北郷
	14 日	母の日	御家族や地域に貢献してこられた、お母さん方へ、日頃の感謝をこめて、外食を楽しむ(西郷温泉)
	20 日	外出支援	こいのぼり運動会
	20 日	外出支援	年金友の会・アトラクション見学
	20 日	防虫剤散布	施設周り
6 月	18 日	父の日	父の日を祝い南郷温泉で、うどん・かつ丼など好きな食事を楽しみデザートのアイスcreamを頂く。
	24 日	外出支援	髪切り、顔そりでリフレッシュする
7 月	1 日	地域祭り	祭り見学・花火見学
	2 日	地域祭り	祭り見学
	19 日 23 日	外出支援	髪切り、顔そりでリフレッシュする(日向市)
	28 日	誕生会	誕生者のお祝いを行い、食事をしながら「さくら座」の踊りを見て感激しながら、ひとときを過ごす。
8 月	13 日	外出支援	髪切り、顔そりでリフレッシュする(日向市)
	26 日	納涼大会	3 施設合同 納涼祭を開催開催。大勢の地域住民の皆様方や、ご家族の方々のご参加を頂き盛大に開催され喜んでおられた。
9 月	3 日	地域交流 地区防災訓練	地域の防災訓練に参加し、地域の方々に声を掛けて頂き交流が持てた。
	13 日 14 日	外出支援	敬老会を前に女性で日向市の大衆美容室へ散髪
	15 日	敬老大会	若宮荘内で地域の来賓の方々を招待し、社会に貢献されてこられた高齢者の方々に感謝の気持ちを込めて、敬老祝賀会を開催する。アトラクションに「さくら座」の舞踊、カラオケなどの披露やご馳走を頂きながら、ひと時を過ごして頂く。
10 月	13 日	外部評価	外部評価事業:調査委員 2 名来所 10 時~15 時 紹介をして交流しながら、入所者の皆さんと一緒に食事をし調査を行う
	16 日	外出支援	髪切り、顔そりでリフレッシュする
	17 日	研修生	宮崎医大性 研修生 5 名受け入れ、お客さんの対応は皆さん上手に対応され、研修生の積極的な声掛けに、和やかに交流を行う

11月	5日	医療	インフルエンザ予防接種・全利用者・職員接種
	12日	外出支援	327号線ドライブ・おせり滝下車、空気の澄んだ中で、マイナスイオンでリフレッシュ。
	18日	地域交流	田代祭り・日頃から出品すると意気込み、銀杏の出品準備を行っていた、美郷町産業祭がおこなわれ、「銀杏」「からいも」の出品物搬入を行い、他の出品物の展示物を見学。子供みこしが施設に来所しにぎあう
	19日	地域交流	産業祭見学、イベント踊り、芝居見学
	29日	地域防災	夜間型防災訓練：地域住民・消防本部運営推進員参加で防災訓練実施。避難誘導を自主的に地域の方々が実施して頂き今後の有事の際の協力体制をお願いする。
12月	11日・15日	渋柿作り	季節の渋柿の皮をむき、紐でくり屋外に干す作業を行う。
	15日・20日	理容室へ外出	お正月を控え散髪・顔そりへと外出しリフレッシュ(日向市)
	24日	クリスマス会	クリスマス会開催・サンタクロース登場でプレゼント贈呈等で楽しんで頂く
	30日	季節行事	皆さんで餅つきを行い正月気分を感じて頂く。餅の試食を楽しむ。
1月	3日	外出支援	全員で地域の氏神様へ初詣し健康安全を祈願する。
	23日	インフルエンザ発生	発熱者が有り診察結果、インフルエンザB型感染との事で感染予防に努める。面会謝絶の表示で対応も図る
	25日	感染症重篤者入院	インフルエンザ感染者、緊急性高いと判断し入院加療の依頼、受理で1名入院加療。
	28日	感染者退院	インフルエンザ感染者退院、隔離の指示受け感染対策を行う。
2月	23日	外出支援	自宅訪問・日頃より帰宅欲求が有り、自宅に帰り精神安定の支援を行う。
3月	4日	外出支援	美郷町で日頃より生涯学習の一環から歌・踊り・民謡の練習に取り組む団体の発表会が開催され見学する。
	21日	外出支援	誕生会を控え散髪・顔そりへと外出しリフレッシュ(日向市)
	25日	外出支援	春の陽気で花々が開花・季節感を感じて頂き美しさに感動の声が聞かれ、お弁当を桜の木々が咲き誇る、林業センター内園庭で楽しく食事・記念写真を撮る。
	30日	誕生会 家族会総会	3月の誕生者2名のお祝いを開催、ご家族参加・運営推進員参加の元で開催、アトラクションに「さくら座」の皆さんで舞踊を披露して頂く。誕生会後に家族会総会を行う、介護保険改正に伴う料金の一部変更の説明・新家族会会長の選任を誕生会後に行う。

職員会議内容

実施日		内 容
職 員 会 議	4月30日	事業計画案の協議・承認・3月行事反省と5月行事の協議・計画・ケア会議・外出支援計画・地区清掃・施設内研修の件・運営推進会議開催の件・健康診断の件・職員制服購入の件・新規入所者の件・外部評価事業時期連絡文書の報告・事故対策 新規予約者情報
	5月31日	4月行事反省・6月行事協議・計画 ケア会議 事故対策の協議と確認 地区道路清掃の件外出支援の検討・健康診断(利用者・職員)
	6月30日	5月行事反省・7月行事協議、計画 伝達研修 ケア会議 ・事故対策会議(事故発生1件)
	7月29日	6月行事反省・8月行事について (施設行事納涼祭の周知事項)・ケア会議・事故対策会議
	8月26日	7月行事反省・9月行事について、ケア会議・事故対策会議(事故発生1件) 外部評価事業について 施設理念の検討、提案 ・老人福祉倫理綱領の周知
	9月27日	8月行事反省・10月行事について、ケア会議 伝達研修 外部評価の取り組み ・事故対策会議(事故発生2件) 地域交流(美郷町民祭参加について)
	10月31日	9月行事反省・11月行事について・ケア会議 清風会事務連絡会議の報告、周知 外部評価事業結果について 伝達研修 地域交流事項(田代祭り・産業祭)
	11月30日	10月行事反省・12月行事について・ケア会議 伝達研修 入所申請者情報 外部評価事業公表結果、次のステップアップに向けた取り組みについて 美郷町産業祭出品物事後の対応について
	12月27日	11月行事反省・1月行事について・ケア会議 伝達研修 ・事故対策会議(事故発生1件)
	1月25日	12月行事反省・2月行事について・事故対策会議・ケア会議 外部評価事業について
	2月28日	1月行事反省・3月行事について・事故対策・ケア会議 伝達研修 平成30年度事業計画案について
	3月16日	2月行事反省・3月行事計画・事故対策・ケア会議・伝達研修会 平成30年度事業計画案について

運営推進会議

運 営 推 進 会 議	5月30日	救急法講義	運営推進員の皆様方にも参加して頂き、心肺蘇生法について 急患者体位変換法 止血方法急患者の身体保温の方法等の緊急時の対応を学ぶ 29年度事業計画 入所者状況
	7月30日	誕生会参加	誕生会を開催しご家族・運営推進員の皆様方をご招待し施設の概要・入所の皆さんと交流を深めて頂く アトラクション: 舞踊会「さくら座」クイズ大会
	9月15日	合同敬老大会	若宮荘・GHみさと合同敬老大会開催し運営推進員の皆様方ご招待アトラクション舞踊・カラオケを楽しんで頂く
	11月29日	合同防災訓練	夜間を想定して、地域住民・運営推進員・消防本部・施設職員合同防災訓練を実施、有事の際に、地域の方にご協力頂くように訓練を実施する。
	1月30日	運営推進会議	実施予定に出席頂くように文書発送を行っていたが、利用者・職員のインフルエンザ罹患患者発生の為、急遽事情説明、了承を得て資料の提供する。
	3月27日	誕生会	誕生者2名のお祝い会を実施、運営推進員の方々も来賓で招待し協力いただき、御利用者との触れ合いをして頂く。屋外の桜の花が満開のステージで「さくら座」の皆さん方の舞踊・カラオケを楽しみひと時を過ごして頂く。

職員の資質向上・施設内部研修と、外部の研修を受講し職員育成を図った。

期 日	研修名	研修内容・講師	会場 対象者
5月14日	認知症ケア・スキルアップ研修会	第1回宮崎県認知症ケア、スキルアップ研修 講演・認知症高齢者介護の目標 講師：大悟病院 三山吉夫氏	宮崎市 徳田央子
5月30日	救急法を学ぶ	心肺蘇生法・緊急時の体位変換法・止血法 緊急時の保温方法・回復期の体位の方法 講師：宮崎県防災士ネットワーク日向東臼杵支部長(運営推進員) 阪本進氏	内部研修 運営推進員 職員全員
6月4日	宮崎県介護支援専門員協会総会	平成29年度 総会 議案事業報告 収支決算 29年度事業計画及び予算について 講演会：ストレスマネジメントについて 講師：医療福祉大学 佐久間由香氏	宮崎市 広瀬初子
7月8日	宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会	平成29年度総会 講演：その人らしい旅立ちを支える倫理とは 講師：宮崎大学教授 松井孝孝郎氏	宮崎市 徳田央子
7月21日	美郷町支部介護支援専門員総会	平成28年度 事業報告 平成29年度事業計画 収支決算・案	日向市 徳田央子
7月22日	認知症尾ケア・スキルアップ研修会	地域の中で暮らすために、地域と医療の調和の実現に向けて 講師：宅老所よりあい代表：村瀬孝生氏 地域医療について 講師：宮崎大学医学部教授 吉村学氏	宮崎市 徳田央子
8月17日	介護支援専門員美郷支部研修会	講義「自立支援型ケアマネジメント研修」 講師：宮崎県長寿課 奥那嶺佑樹氏	美郷町 徳田央子
8月26日 10月14日	平成29年度防災士養成研修	宮崎県の防災対策 講師：宮崎県危機管理課	日向市 河埜貴志
9月23日	高齢者福祉施設の災害対策研修	高齢者福祉施設での災害対策研修 講師：日向消防本部 上杉隆二氏	門川町松木 サナ子
10月21日	グループホーム連絡協議会15周年講演	トークショー「元気な人は〇〇が元気」 MRT ラジオ局長 川野武文氏 フリーアナウンサー酒井順子氏	宮崎市 田原文江
9月4日 10月26日 11月13日 11月22日	介護支援専門員更新研修会	各ケアマネジメント手法の活用 課題を一般化する視点・捉え方 各事例でグループワーク 講師：大嶺真一氏・長友あかね氏 他	宮崎市 広瀬初子
11月20日 1月24日	平成29年度感染症研修	「感染症の予防と発生時の対応」 講師：日向保険所職員	日向保険所 田村照代 河埜貴志
11月28日	宮崎県グループホーム連絡協議会研修	事例検討(行動・心理症状)解決に向けた考え方 講師：グループホーム ひまわり 吉田真由美氏	延岡市 松木サナ子
11月29日	宮崎県上映実行委員会	アルツハイマー症患者の事例報告(アメリカ事例「僕がジョンと呼ばれるまで」)	田原ふみえ 宮崎市
12月16日	宮崎県介護支援専門員協会研修	適切なケアマネジメント手法の策定に向けて	宮崎市広瀬 初子
平成30年 2月10日 11日	平成29年宮崎県防災士専門コース	地震・津波のしくみと被害 噴火の仕組みと被害 講師：三浦秀明氏・講師：青山尚友氏・災害医療について 講師：長嶺育弘氏 自然災害と防災・減災・土砂災害と対策講師：吉田力氏	延岡市 河埜貴志
2月12日	介護保険制度改正の内容	報酬改定の内容と専門職への影響 講師：介護福祉士会 石本純也氏	宮崎市 広瀬初子
3月17日	認知症ケア・スキルアップ研修会	ADの記憶障害を理解してケアする。 認知症のスピリチュアルケア部会長 講師：日本認知症ケア学会：田代学氏・今井幸充氏	都城市 徳田央子
3月17日	宮崎県グループホーム連絡協議会総会	「認知症高齢者担当スタッフにとって必要なロコモの知識で予防しよう」講師：宮大教授 帖佐悦男氏	宮崎市 河埜貴志

防災訓練

期 日	名 称	内 容	備 考
4月26日	消防設備点検	消火器具 スプリンクラー 自動火災通報設備 誘導灯 消防 機関へ通報する火災報知設備	中村消防
4月28日	防災訓練	火点:風呂場 自動通報装置稼働確認 表示板で火災現場確認作業 入所者への情報提供 初期消火 活動(消火器・ホース) 避難誘導実施	利用者 職員
5月14日	防災訓練	火点風呂場からの出火を想定して消火活動避難誘導訓練を実 施する。誘導後、外食へ。	利用者 職員
6月9日	自然災害対応 文書受け周知	美郷町より、台風災害について周知文書の送付ある、職員・利 用者に対応備えの周知図る	利用者 職員
6月18日	避難誘導訓練	火点風呂場からの出火を想定して消火活動避難誘導訓練を実 施する。誘導後、外食へ。	利用者 職員
7月19日	備品チェック	備蓄の品物確認・災害時照明器・発電機 ・ガス・防寒用毛布整理	職員
8月19日	防災訓練	訓練実施行い消火器取扱時周知事項確認作業 非常食の点検作業	職員
9月3日	峰地域合同災 害訓練	地域の防災訓練に参加、避難誘導を行い車で避難し、老人福 祉館横消防広場に地域住民と共に集合し、撥水訓練・消火器 取扱説明と実際訓練実施 安全な避難、消火活動の説明ある	利用者 地域住民 地区消防団員 職員
9月30日	避難誘導訓練	火点風呂場からの出火を想定して消火活動避難誘導訓練を実 施する。誘導後、外食へ。	利用者 職員
11月2日	消防設備点検	消火器具 スプリンクラー 自動火災通報設備 誘導灯・消防機 関へ通報する火災報知設備 防災設備点検	中村消防
11月29日	本部・地域住 民・施設合同 夜間防災訓練	消防本部・地域住民・運営推進員参加のもと夜間を想定した防 災訓練を実施する。火点:風呂場 自動通報装置稼働確認表 示板で火災現場確認作業・本部への連絡 入所者への情報提 供 初期消火活動(消火器・ホース) 避難誘導実施 避難誘導を地域住民の皆さんが率先して行い 意義ある訓練となる。	利用者 地域住民 消防本部 運営推進員 職員
2月28日	防災訓練	火点:風呂場 自動通報装置稼働確認 表示板で火災現場確認作業 入所者への情報提供 初期消火 活動(消火器・ホース) 備品のチェック	利用者 職員
3月31日	防災訓練	火点の初期消火活動・利用者の避難誘導訓練・施設内消火栓 での撥水訓練	職員 利用者